

給水装置工事竣工届（竣工台帳）記入例（表面）

給水装置工事竣工届（竣工台帳）						
茨城県南水道企業団 企業長 殿				届 出 日	〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	
受 付 番 号	取 龍 生 利	22100000	水 栓 番 号	既 新	199999	
工 事 場 所 龍ヶ崎市長山1丁目5-2						
申 込 者	住 所	取手市戸頭4丁目4-1				
	フリガナ	ワカシバ タロウ		電話番号	0297	
	氏 名	若柴 太郎		(66) 5131		
給 水 装 置 工 事 申 請 者	指 定 給 水 装 置 工 事 業 者	指 定 番 号	第 999 号			
	住 所 名 義 者 代 表 者 電 話 番 号	牛久市栄町4丁目194 株式会社 県南水道店 代表取締役 水道 花子 0297-66-5133				
給水装置工事主任技術者氏名		免状交付番号	第 999999 号 水道 一郎			
仮 設 工 事	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	水栓番号発行 <input checked="" type="checkbox"/> 既設栓番号・ <input type="checkbox"/> 仮設時発行・ <input type="checkbox"/> 竣工時発行・ <input type="checkbox"/> 発行なし				
既設給水装置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	口径 φ	20 25 mm	栓 数	2 1 栓	
撤 去	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	取直し <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
竣 工 後 の 給 水 装 置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	管 種	H I V P P E P		口径 φ	25 50 mm
栓 数		1 1 栓				
添 付 書 類	工事記録写真	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	舗装本復旧完了届		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 無	
	公函（仮換地図）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	使用開始（中止・廃止）届		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	その他（ ）	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
受 水 槽 関 係 添 付 書 類	受水槽以下給水設備切替えに係る自主検査報告書	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	小簡易専用水道（簡易専用水道）布設工事届の写し		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	各戸検針契約関係書類	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	その他（ ）		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
備 考						

届出日は必ず記入すること。

受付番号と水栓番号は申請手数料納付書等で確認し、記入すること。水栓番号が発行されていない場合は空欄とする。

水栓番号の発行の時期については、以下のとおり。

①既設栓番号
既に給水を開始していた給水装置であり、既設の水栓番号があるもの。

②仮設時発行
過去に給水していたことのない給水装置だが、当該工事に係る仮設工事申請の際に水栓番号を発行しているもの。

③竣工時発行
これまで給水していない給水装置であり、本工事の竣工後に給水を開始するもの。

④発行なし
先行引込管及び共用栓等の直接給水しないもの。

申込書同様、添付書類それぞれの『有・無』のチェック欄いすれかにチェックを入れること。

※ 企 業 団 記 入 欄

竣 工 後 既 得 権	口径 φ	mm	栓 ()	円	竣 工 検 査 日	
	口径 φ	mm	栓 ()	円	年 月 日	
	口径 φ	mm	栓 ()	円	メーター 番 号	
	(算定式)				(備考)	

受 付 印	水道技術管理者	課 長	課長補佐	係 長	検 査 員	受 付

給水装置工事竣工届（竣工台帳）記入例（裏面）

主任技術者による自主検査報告書

検査種別及び項目		検査の内容	検査	検査種別及び項目		検査の内容	検査
指定範囲	管種	指定された管種を使用している。	☑	受水槽設置届	5m ³ 以上の受水槽を設置する場合に、小簡易水道（5m ³ 以上）又は簡易専用水道（10m ³ を超える）設置が届出している。	☑	
	給水器具	指定された接合材や止水栓等の器具を使用している。	☑				
	構造	指定された基準に適合した構造になっている。	☑				
公道工事	分岐	適切な機械により穿孔作業を行い、必要な防食、防汚処置を行なっている。	☑	受水槽	汚染防止	水槽内の水が汚染されぬよう適切な構造としている。	☑
	配管	配管の口径、経路、構造等が適切である。	☑		吐水口空間の測定	吐水口と越流面等との位置が適切である。	☑
		所定の深さが確保されている。	☑		水撃作用の防止	給水遮断時の水撃作用の発生を防止できる構造としている。	☑
		他の埋設物又は構造物との間隔を30cm以上確保している。	☑		ストレーナ	適切な位置にストレーナを設置しており、定水位弁その他の器具の故障を防止している。	☑
		明示テープや埋設表示シートにより管の明示を適切に行なっている。	☑		緊急時連絡先	住民等が確認しやすい場所に標示板を設置し、緊急時連絡先として管理者・契約設備業者等の連絡先を明示している。	☑
	浸透防止テープやスリーブ等を使用して管種により適切な防食、防汚処理を施している。	☑	給水装置の保護		水の汚染、破壊、侵食、凍結等を防止するための適切な処置がなされている。		☑
	接合	適切な接合が行われている。		☑	水質	D P D法による検査の結果、0.1 mg/l以上の遊離残留塩素が検出される。	☑
	仕切弁	止水栓・仕切弁のスピンドルの位置が管の中心にあり、傾きがない。	☐	色、濁り、臭い、味等に異常がないことを確認している。		☑	
	筐類	沈下、傾きがなく地表面と同じ高さである。	☐	撤去工事		給水装置を撤去する場合には、分岐から給水装置末端の給水用具まで全てが撤去されている。	☑
	明示ピン	適切な位置に明示ピンを設置している。	☑	路面復旧	仮復旧	陥没、沈下等が発生しないよう規定どおり入念に締固めしており、道路占用許可条件のとおり復旧している。	☑
宅内工事	配管	性能基準適合品を使用している。	☑		本復旧	適切な自然転圧期間において道路占用許可条件のとおり本復旧している。	☑
		配管の口径、経路、構造等が適切である。	☑	基本事項	支給された指定の用紙を使用しており、貼付け等はしていない。	☑	
		他の埋設物又は構造物との間隔を30cm以上確保している。	☑		必要事項が全て記入されており、記載に漏れがない。	☑	
		クロスコネクションでない。	☑		現地状況と平面図、立面図、使用材料明細が全て整合している。	☑	
	配水管の水圧に影響を及ぼすおそれのあるポンプ等に直接連結していない。	☑	標記方法や図示記号が企業団の基準に適合している。		☑		
	逆流防止のために必要な処置をとっている。	☑	案内図	適切な縮尺で方位は北上の地図となっている。	☑		
接合	適切な接合が行われている。	☑		工事箇所及びその区画が確認できるよう、目標物等の記載があり、工事場所が正しく図示されている。	☑		
敷地内第一止水栓もしくは仕切弁	基準の範囲内で操作に支障がない位置に設置している。	☑	竣工図	平面図	方位や縮尺が記載されている。	☑	
	前面道路から直角の向きに設置している。	☑			管種・口径、寸法等、記載事項に漏れがない。	☑	
メーター	止水栓・仕切弁のスピンドルの位置が管の中心にあり、傾きがない。	☑		立面図	敷地全体が記載されており、建物の位置や構造が正しく記載されている。	☑	
	口径は分岐口径と同一である。	☑			竣工図に明示した寸法値と記入した配管延長、現地の配管延長がそれぞれ整合している。	☑	
	基準の範囲内で検針業務に支障がない場所に設置されている。	☑	給水装置に付属する各給水用具の設置位置について、竣工図と現地設置状況が整合している。		☑		
メーター	メーター及び補助止水栓は、逆付け、片寄りがなく水平に取付けられている。	☑	オフセット図	分岐部、宅地内第一止水栓（もしくは仕切弁）設置位置、メーター設置位置のオフセットが正しく計測されており、竣工図に記載した数値と整合している。	☑		
	交換作業等維持管理上の支障がない。	☑		立面図	管種・口径、寸法等、記載事項に漏れがない。	☑	
メーターボックスの蓋裏面の表示板に必要事項を明示している。	☑	既設自家水道管の使用	既設自家水道管の使用に先立ち、構造及び材質が給水装置としての性能基準を満たしていることを確認している。		☑		
筐類	沈下、傾きがなく地表面と同じ高さである。		☑	工事記録写真	指定された箇所の写真が撮影されている。	☑	
給水用具	使用材料	性能基準適合品を使用している。	☑		メジャー等の計測器具全体及び数値を確認できる。	☑	
	接合	適切な接合が行われている。	☑	その他特記事項	☐		
	吐水口空間の測定	吐水口と越流面等との位置が適切である。	☑				
	機能検査	全ての給水用具が当該系統の水道メーターを経由している。	☑	茨城県南水道企業団 給水装置工事設計及び施工基準に基づいて、上記項目につき検査を行なった結果、適正であることを確認いたしましたので致します。			
機能検査	給水用具の吐水量、動作状態などが適切である。	☑					
耐圧試験	機能検査	現地水圧下での作動に適した給水用具を設置している。	☑	給水装置工事主任技術者 氏名 水道 一郎			
	耐圧試験	規定の水圧による耐圧試験で、漏水及び抜けがない。	☑				

当該工事に関連する項目については、主任技術者による検査をおこなったうえで合格したものについてはチェックを入れること。不適と判断されるものについては、適合するよう手直しなどを行い、全ての関連項目について合格し、チェックしたのちに竣工の届出を行うこと。